

南アフリカ通信 Vol.46

「イエー」大使館対策本部の中で再び叫んだ。オランダ戦の終了間際、開場のシニョットがゴールネットを揺らしたと思ったのだが、残念、ボールは枠外に落ちていた。歓声はすぐにため息に変わった。でも大丈夫、まだ次がある。締め切り時点でデンマーク戦の結果は分からないが、最後まで応援する覚悟があるから、あきらめない。さて、試合は毎日順調に行なわれているものの、大会運営は綱渡り気味だ。いくつかのスタジアムで警備員がデモを打っているのだ。理由は一日190ランド（2300円）の低賃金。食パン一斤8ランド、コーラ一本10ランドのこの国で、W杯期間中だけの臨時雇用も少し払ってあげればいいのかと思うのだが、雇用していた会社はそうでなかったらしい。スタジアム内の警備は警察が代わりに引き受けたが、ダーバンやケープタウンで起こったデモに警備隊はゴ



Gettyimages

ワールドカップで沸き立つ南アフリカ。開催国が敗退したけど、現地はまだ盛り上がりつつある!? 現地在住の日本大使館領事が最新の情報を直送する。

文・写真◎新保 剛

●「フレンドリーな詐欺犯が出没」



▲ヨハネスブルグ空港のカウンタダウン広告塔。大会が始まった今では「南アが輝くとき」の表示のみだ



▲ヨハネスブルグ市中心の危険地帯にあるショッピングセンター。ここを歩くときはかなり警戒が必要

ム弾を発砲して対応、当たり前どころが悪くて、デモ隊の一人が死亡したと報道されている。日本人サポーターの被害状況といえど、大使館に寄せられた報告では6月20日までに少年グループによる強盗被害が一件のみで負傷者もなし。置き引きが20件を越えたが、その他の犯罪被害は詐欺盗が一件のみだ。手口は「日本のお金を見せて」と話しかけ、紙幣を手に取りながらいろいろと話をしつつひそかに何枚かを抜き取るというものだ。被害者はあとで紙幣を調べて被害に気づくことになる。フレンドリーに話しかけてくるので対応しにくい、そういう場合にはコインを見せておこう。たとえ盗られてもたかが知れている。この手口も南アでは見かけないものだ。詐欺団が出稼ぎに来たのか、親戚の合間の一稼ぎなのかは判らない。これまでのところ、日本人サポーターの犯罪被害は幸いなことにそれほど多くない。こちらも大健闘と言える。日本が2位で勝ち抜けば決勝トーナメント1回戦はブラジルだ。このまま幸運が続いてほしいものだ。

著者プロフィール◎一書記官兼領事。06年より在南ア共和国日本大使館に勤務。業務の1つに在留邦人と日本人旅行者の安全対策がある。2010年のワールドカップ期間中、日本人旅行者に安全情報を発信する

外務省海外安全ホームページ <http://www.pubanzen.mofa.go.jp>
在南アフリカ日本大使館 http://www.za.emb-japan.go.jp/index_jp.html

サッカーマガジン WORLD CUP SPECIAL